

2023年度桜島大規模火山噴火総合研究グループ研究集会

日時: 2023年12月19日(火)午後1時半~5時

12月20日(水)午前9時~午後1時

会場: TKPガーデンシティ鹿児島中央 鹿児島市中央町26-1南国アネックス 2階 霧島プレミアム

12分発表, 議論3分

開始時刻	終了時刻	タイトル	講演者	座長	
12月19日	13:30	13:40	イントロダクション	井口正人	中道治久
	13:40	13:55	火山灰色に基づく噴火推移のモニタリング	嶋野岳人	
	13:55	14:10	桜島火山のブルカノ式噴火におけるマグマ上昇時のガス収支と浸透率	中村美千彦	為栗健
	14:10	14:25	火砕流のリアルタイム予測とハザードマップの作成	権田豊	
	14:25	14:40	桜島有村川流域において観測された降水量と流出解析モデルから推定した透水性の関係	宮田秀介	竹林洋史
	14:40	14:55	山地流域での土石流発生ポテンシャルの長期的な変動	下司信夫	
	14:55	15:10	噴火後の土石流および泥流の発生に関する観測と予測手法の開発	風間卓仁	山田大志
	15:25	15:40	桜島大正噴火のマグマ上昇過程とフィーダダイク構造	西山竜一	
	15:40	15:55	桜島火山における相対重力キャンペーン観測: これまでの重力変化と今後の観測計画について	山本圭吾	中道治久
	15:55	16:10	桜島・有村における絶対重力観測について(2019-2023年)	八木原寛	
	16:10	16:25	精密水準測量による桜島火山の地盤上下変動(2023年11月測量の結果)		
	16:25	16:40	桜島北東海域における繰り返し海底地震観測		
	16:40	17:00	総合討論		
12月20日	9:00	9:15	桜島の爆発地震の超長周期帯域のソースメカニズム	高橋龍平	山本圭吾
	9:15	9:30	桜島および全国の活火山における噴火直前の傾斜変動(その2)	前田裕太	
	9:30	9:45	2017年11月13日南岳爆発に伴う変動源の再検討	堀田耕平	石井杏佳
	9:45	10:00	複数圧力源を考慮した桜島ブルカノ式噴火の地盤収縮過程	山田大志	
	10:00	10:15	空気振動観測によるブルカノ式噴火の岩塊到達距離評価 一運動方程式に基づく圧力積分と初速度の検討一	中道治久	
	10:15	10:30	桜島火山におけるライダーを用いた細粒火山灰の観測		
			休憩		
	10:45	11:00	船舶用レーダX-bandとS-bandの同時観測による海上の雨雲観測	西隆昭	為栗健
	11:15	11:30	気象レーダによる噴煙モニタリング研究(レビュー)	真木雅之	
	11:30	11:45	噴火発生前の降灰予測	井口正人	Haris Rahadianto
	11:45	12:00	Dynamic Decision Support for Evacuation Anticipating Massive Ash Fallout from Large Eruptions of Sakurajima Volcano: Multiple Eruptions Consideration		
	12:00	12:15	火山災害対策のための情報ツールの開発について(降灰被害)	中田節也	大西正光
	12:15	12:30	次なる桜島大規模噴火に向けた専門家と地域の協働活動: 現在の立ち位置		
	12:30	13:00	総合討論		中道治久

※ハイブリッド開催ですが、発表は現地のみです。オンライン会場(Zoom)については別途ご案内します。